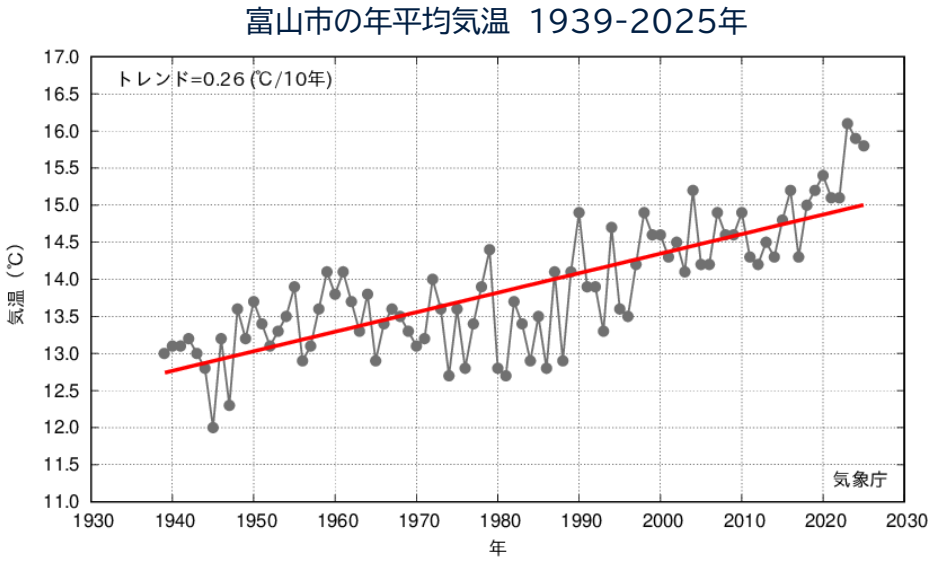
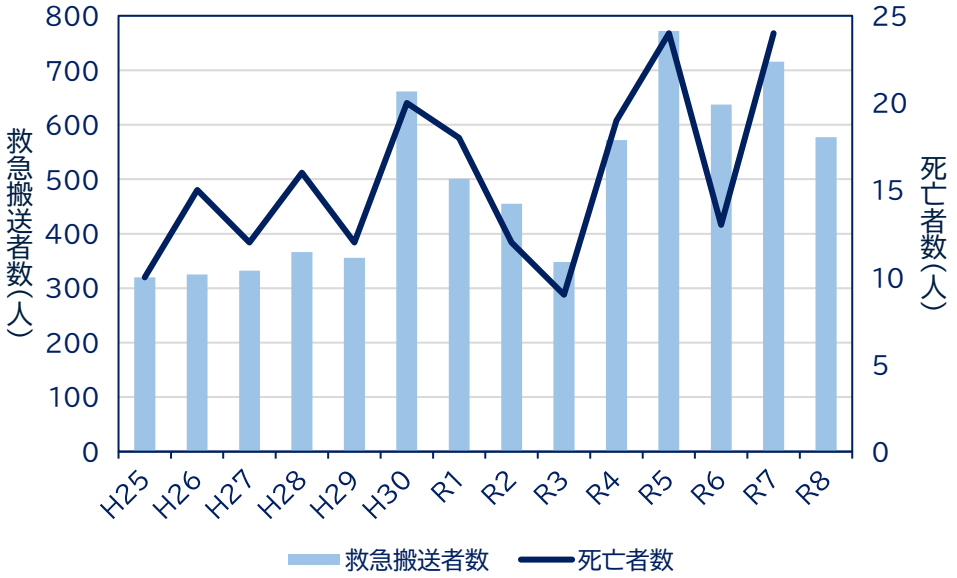
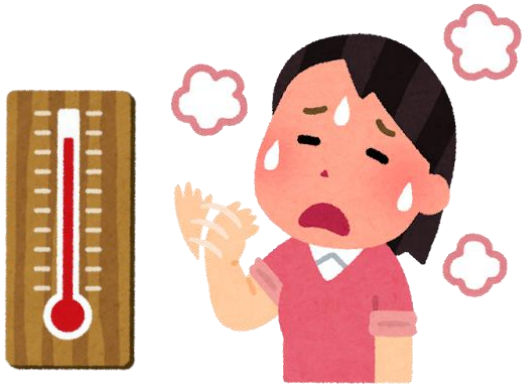
熱中症の発生状況（富山県）

・富山県でも平均気温は年々上昇しており、今後も上昇すると予測されています。
・熱中症による救急搬送者数・死亡者数も増加傾向にあります。





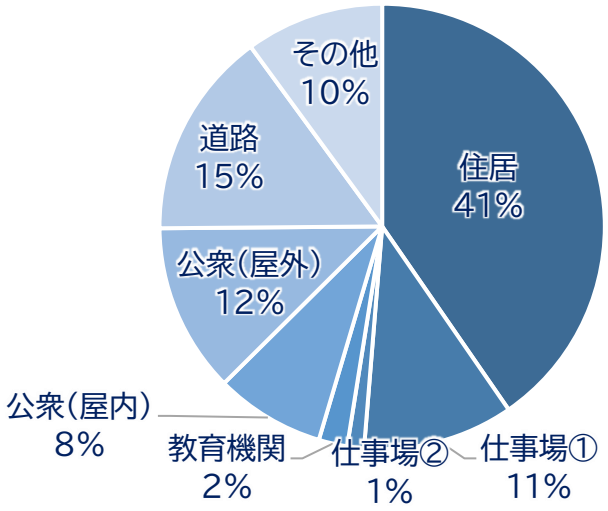


出典：
・東京管区気象台「北陸地方のこれまでの気候変化（観測結果）」
・消防庁「全国の熱中症による救急搬送状況（速報値）」から作成
・厚生労働省「人口動態統計」から作成
※令和8年度の死亡者数は未公表

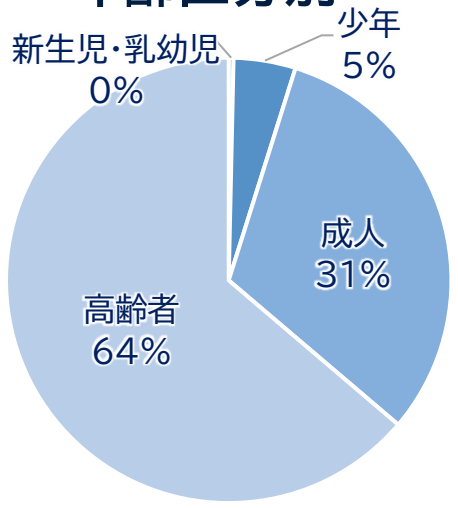
熱中症の発生状況（富山県）

・発生場所別では、**住居での発生が約4割**で最多です。
・年齢区分別では、**高齢者（65歳以上）の発生が約6割**で最多です。

発生場所別



年齢区分別



出典：消防庁「全国の熱中症による救急搬送状況（速報値）」から作成

＜令和6年度 県のアンケート調査＞

・暑さ指数（気温、湿度、風などから算出される**熱中症のなりやすさ**を示す指標。28以上でリスク増加。）を「知らない・未活用」が**7割以上**

・暑さ指数やアラートを予防行動に活用していない理由
　〇気温や体感温度で十分と認識されている
　〇屋内でも熱中症になることが伝わっていない

熱中症の発生時の状況（令和8年度）※新聞報道から抜粋

【救急搬送時の状況】

・エアコンのついていない自宅居間で過ごしていた。（8月13日 90代 女性）
・屋内で倒れており、冷房は不使用だった。（8月16日 80代 男性）
・自宅の庭で倒れていた。（8月7日 60代 男性）
・パークゴルフ中に体調不良を訴えた。（6月29日 80代 男性）
・路上に座り込んで動けなくなっているのを通行人が見つけた。（8月30日 80代 男性）

【死亡者の状況】

・13:40頃、自宅の前でメダカの世話をしていた70代男性が倒れているのを、様子を見に来た妻が発見した。（7月20日）
・14:10頃、畑で70代男性が倒れているのを妻が見つけた。男性は自宅近くの畑で一人で作業をしていたとみられる。（8月19日）

県からのお願い

今後も夏は大変暑くなることが予想されます。
特に5月～9月頃にかけて、高齢者への見守り・声掛けについて
改めてご協力をお願いします。

・テレビや新聞などで暑さ指数、気温を確認し、28℃を超えたら冷房をつける
（寒い場合は冷房をとめず、薄手の長袖、ひざ掛けなどで調節）

・暑いときは無理をせず、屋外作業や体力のいる家事を控える
（テレビや新聞などで「熱中症警戒アラート」の発令をチェック）

・こまめな水分・塩分の補給
（1日の目安は1.2L＋汗をかいた分）

【担当課】
富山県環境政策課 地球環境係（TEL:076-444-8727）